

ニュージーランド・キャッスルヒル

【報告者】一木

【日時】平成 19 年 12 月 29 日 ~ 平成 20 年 1 月 6 日

【参加者】一木、今村

コースタイム

12月29日 福岡 = 関空 = (泊)

30日 クライストチャーチ着 市内観光 Springfield の YHA 泊

31日 キャッスルヒルでボルダリング YHA 泊

1月1日 アカロアに移動し観光 キャンプ場泊

2日 カイコウラに移動し観光 キャンプ場泊

3日 キャッスルヒルに移動しクライミング YHA 泊

4日 キャッスルヒルでクライミング YHA 泊

5日 キャッスルヒルでクライミング クライストチャーチに移動 ホテル泊

6日 クライストチャーチ = オークランド = 関空 = 福岡

報 告

今年の年末年始は休みが取りやすいらしい、という情報を基に、強引に休みを取る事を10月には決めました。行く先はニュージーランド。行ったことがないのと、有名なボルダリングエリアがあるのと、季節が逆なので、夏休みではなかなかいけないから、ということで決定しました。飛行機のチケットがなかなか取れず、12月中旬までヒヤヒヤしましたが、どうにか予約でき、南半球での夏のクライミングを楽しむことができました。

12月29日 大きなザックとマットをかかえて福岡空港から出発。それでもカム類がない分前回のカナダツアーのときよりは荷物は軽かった。関空から夕方の飛行機に乗り、クライストチャーチへ向かった。

12月30日 朝8時過ぎにクライストチャーチ空港へ着いた。日差しは強いが空気は思ったよりもひんやりしている。レンタカーはエコノミークラスのマニュアル車を借りたが、ニュージーランドは左側通行なので快適に運転できる。市内観光して、国鳥キウイを見た後、トボや食材を買い揃えてキャッスルヒルへ向かった。市内を出てしばらくすると草原になり、羊や牛が草を食んでいる。はじめは羊が珍しかったが、こ

の後毎日目にするようになる・・・。キャッスルヒル近くの Springfield のコースホテル(YHA)にチェックインし、少しだけでも、と夕方からキャッスルヒルに下見に向かった。コースから 30 分ほど車を走らせると、小高い丘の上に無数のボルダーが見えてくる。はじめてみる景色に大感動し、近くのボルダーをいくつか登った。ちなみにこの季節のニュージーランドは日が長く、9 時くらいまで登れた。

12 月 31 日 今日は 1 日中登るつもりで早起きし、昼食を作って出発した。しかし天気は雨。とりあえず行ってみると雨はやんだが、日が差さないため夏なのにものすごく寒い！今回冬用のヤッケを念のため持っていったが、ないと死ぬところだった・・・。寒くて車から出られずに待っていると、目の前の道路を羊の大群が横切っていた！この日は Spittle Hill というエリアで 1 日登った。アメリカ人やカナダ人など海外から来ている人も多かったが、全体にクライマーの数は多くなく、みんなのんびりした雰囲気の中で登っていた。私は V3 くらいのグレードを中心に、今村さんは V6 くらいを登っていたが、とにかく課題が外人サイズのため、スタートやスタンスに届かなかったりして結構大変だった。夜はコースで食事をしていたら、フランス人のグループに誘われてシャンパンやフォアグラをごちそうになり、そのままニューイヤーを迎えた。

1 月 1 日 今日はレストと観光の予定。アカロアというローカルな海辺のリゾート地に行き、のんびりしたあと、夕方からは野生のペンギンの観察ツアーに行った。

1 月 2 日 この日はルートクライミングもしようとして Britten Crag というクライストチャーチ近くの岩場へ行ってみた。しかしあまりぱっとせず、岩も脆かったため、1 本登っただけでやめて、次の目的地のカイコウラへ向かった。ここも海辺の観光地で、ここでの目的はオットセイのコロニーを見ること。ひたすら海岸沿いを歩くと、海鳥が営巣していたり、オットセイが寝そべったりと自然の豊かなところだった。

1 月 3 日 カイコウラから再びキャッスルヒルへ。買出しをしたりで着いたのは夕方だったが、丸 2 日登っていないため、夜 9 時ごろまでがんばって登ってしまった。

1 月 4 日 昨日遅くまで登り、寝たのも遅かったが、今日も 6 時半に起床。もっとゆっくりすればいいのだが、昼間は暑すぎて登れないのでこうなってしまう。宿の主人に「仕事にでも行くのか」と言われながら 8 時には宿を出発した。今日も小雨が降っていたが、岩場に着くと止んでいた。今日は Quantum Field というエリア。寒かったためのんびり登りだしたが、次第に晴れてきてあっという間にものすごい暑さに！昼間は木陰で休んだり、山間部をドライブしたりして過ごし、夕方涼しくなってから、暗くなるまでもうひと登りした。

1 月 5 日 今日は最終日。いつもの時間に荷物をまとめてコースを出た。朝から晴れているため、涼しいうちにいろいろな課題に手をつけ、私は奇跡的に V5 の課題を 1 つ登ることができた。今村さんは、V6 はいくつも登るものの、V7 以上になるとかなり

苦戦していた。1時ごろには暑さに耐えられなくなり木陰で休むが、今日は夕方にはクライストチャーチに戻らないといけないため、3時過ぎから灼熱の中を日陰の課題を探しながらしつこく登った。6時ごろ終了し、疲れた体でクライストチャーチまで戻った。
1月6日 今日帰国日。朝4時ごろ起床し、ふらふらの状態で飛行機に乗り、夜には福岡に帰ってきた。

初めてのニュージーランド旅行は、日程が短く、いろいろと欲張りすぎて、かなりあわただしいものになってしまいました。ですが、のんびりとした雰囲気の中でクライミングやドライブを楽しむことができました。キャッスルヒルは、ちょっと遠いけど、ロケーション、ランディングともいいし、どんなレベルのクライマーにもおすすめですよ～。



ニュージーランド
キャッスルヒル